送迎準備

運転手	添乗者
・乗車名簿を確認し、車内に携帯する。添乗者がいる場合は一緒に行う。	・乗車名簿を運転手と確認し、車内に携帯する。
・運転免許証を携帯する。	・出席管理責任者より、家族、関係者等に伝達事項の有無を確認する。
・送迎前のアルコールチェックを行う。	・当日の乗車名簿により送迎時間を確認する。
・当日の乗車名簿により送迎時間を確認する。	
・添乗者がいるか、添乗者が要る場合誰と送迎に行くのかを確認する。	

歩行可能な利用者を単独で迎えに行く場合
運転手業務
・連絡が必要な利用者へは施設を出発前に連絡をする。
・送迎に行く際に、走行中に携帯電話を使用の必要が発生した場合は、車を路肩に停車し、電話連絡を行う。
・到着後、車から降りて利用者・家族・関係者へ挨拶をする。
・雨天時、利用者に雨がかからないよう傘等を使用し、車まで誘導する。
・車のドアを開け、利用者へ声を掛け席まで誘導する。
・利用者のシートベルトを装着する。※自分で出来る人は自分でさせても良い。
・安全に配慮しながらドアを閉める。
・関係者や家族がいる場合は挨拶をして車に乗る。
・利用者に発車をすることを伝えて、車を発車させる。
・法定速度を守り道路交通法に従いながら運転する。急ブレーキ・急発進はしない。
・利用者に急変が生じた場合、車を路肩に止めて主任・管理者へ連絡し、指示を仰ぐ。（単独送迎）
・事故発生時は事故発生時・緊急時の対応マニュアル参照。
・施設へ到着後、車のドアを開ける。
・利用者にシートベルトを外す事を伝え、シートベルトを外す。※同じ
・利用者の下車介助を行う。介助は利用者の特性に合わせ行う。下車する際に利用者に声を掛け、安全に配慮する。
・安全に配慮して利用者をフロアまで誘導する。
・利用者が複数人いる場合は、到着後、フロアへ連絡をし応援を呼ぶ。
・車を駐車場まで移動させ、乗車名・走行距離を記入する。
・家族・関係者からの伝達事項を出席管理責任者へ伝える。
・送迎乗降確認表の記載を行い、特記事項等も含め、出席確認責任者又は管理者等へ報告する。

歩行可能な利用者を単独で送る場合
運転手業務
・家族・関係者へ伝達事項の有無を出席管理責任者へ確認する。
・利用者の荷物等忘れ物がないか等を確認する。
・利用者をフロアから車まで誘導する。
・車のドアを開ける。
・利用者に声を掛け座席まで誘導する。
・利用者のシートベルトを装着する。※同じ
・連絡が必要な利用者へは施設を出発前に連絡をする。
・利用者に発車をすることを伝えて、車を発車させる。
・法定速度を守り道路交通法に従いながら運転する。急ブレーキ・急発進はしない。
・利用者に急変が生じた場合、車を路肩に止めて管理者へ連絡し、指示を仰ぐ。（単独送迎）
・事故発生時は、事故発生時・緊急時の対応マニュアル参照。
・送迎に行く際に、走行中に携帯電話を使用の必要が発生した場合は、車を路肩に停車し、電話連絡を行う。
・到着後、車から降りる。家族・関係者がいる場合は挨拶をする。
・ドアを開け、利用者にシートベルトを外すことを伝えシートベルトを外す。※同じ
・利用者の特性に合わせて介助を行う。介助中は安全に配慮し声かけを行う。
・利用者を自宅、又は自宅付近まで誘導する。
・伝達事項がある際は、関係者や家族へ伝える。
・関係者や家族がいる場合は挨拶をして車に乗り、発車させる。
・施設へ到着後、乗車名と走行距離を記入する。
・置き去り防止を支援する安全装置が動作していることを確認する。
・特記事項等ある場合、出席管理責任者又は主任職員へ報告する。
・送迎乗降確認表の記載を行い、特記事項等も含め、出席確認責任者又は管理者等へ報告する。

送迎終了後
運転手業務
・全児童が降車後は、見落としがないか、車内の先頭から最後尾まで歩き、座席下や物陰なども含め一列ずつ車内全体を見回り、確認する。添乗者も同様に、全体を見回り、確認する。（バスの場合）
・運転手は置き去り防止を支援する安全装置が動作していることを確認する。
・送迎終了後、走行距離表に記入を行うこと。
・清掃手順に従い車内清掃を行う。その際に不備等あれば理責任者又へ報告する。
・事務所へ車の鍵を返却し、アルコールチェックを行う。

・任務終了

ヒヤリハットの共有
・ヒヤリハット事例に気付いた職員は、すぐに管理者に報告する事。
・ヒヤリハット事例について職員間で共有する機会を設けるとともに、日頃から報告しやすい雰囲気づくりを行う。
・報告のあったヒヤリハット事例を踏まえ、再発防止策を講じる。
・安全は日々の積み重ねで築かれる事を意識し、職員の入れ替わり、こどもの入れ替わり等があるため、ヒヤリハットから学び続ける姿勢が、施設の安全管理に関する機運を高める。
・事業会議や定例の職員会議等でヒヤリハットを取り上げる時間を設け、又報告を推奨する取り組みによって、安全管理を大切にすることが、職員の共通認識とする。

子どもたちへの支援
・大人が万全の対応をすることで、こどもを絶対に見落とさないことが重要ですが、万が一車内に取り残された場合の危険性をこどもたちに伝えるとともに、緊急時には外部に助けを求めるための行動がとれるよう、こどもの発達に応じた支援を行うこと。
・こどもたちが、放課後等デイサービスでの活動を通じて、のびのびと育つ事を第一に考え、送迎車に乗ることに不安を与えないよう十分に留意する必要がある。